

巡回拠点なでしこ

かがやき

つうしん

北区立なでしこ小学校校長 戸倉 務
巡回拠点なでしこ 巡回指導教員
令和6年2月1日発行 第11号
巡回拠点なでしこ直通: 3901-2622



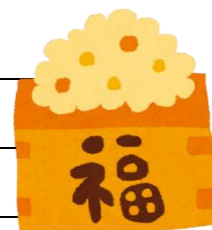
早いもので、今年度も残り2ヶ月となりました。4月と比べると、子どもたちは確実に成長していると感じます。今年度できるようになったことを子供と一緒に振り返り、喜びを共有したいと思います。

また、今年度の目標を改めて確認し、3月には良い締めくくりができるように支援を行って参ります。今月もご理解ご協力をお願いいたします。

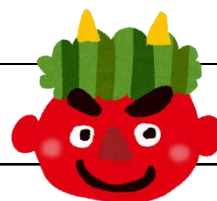


★今後の予定★

保護者面談（3月）	3月 4日（月）～15日（金）
2学期 巡回指導終了	3月11日（月）



★保護者面談について★



【面談日程調整について】

後日、「保護者面談のお知らせ」を配布いたします。ご都合のよい日時を記入していただき、巡回指導担当教員もしくは学級担任へお知らせください。

また、面談の日時が確定しましたら、連絡ファイルを通じてお知らせいたします。学年末のまとめと進級に向けてのお話ができればと考えております。

ご多用の折とは存じますが、ご協力お願いいたします。

【「特別支援教室に関する確認書」について】

保護者面談の際に、来年度も継続して巡回指導を受ける方は、「特別支援教室に関する確認書」にて来年度の指導内容を確認いたします。内容を確認した上で、ご署名をいただきます。

【連絡ファイル「家庭より」の欄について】

「家で～ができるようになりました。」「～が苦手ですががんばって練習しています。」など、毎週たくさんのコメントをいただいております。成長したところは、一緒に読みながら喜び、褒めることで、自信を付けられるように心掛けています。また、課題については、学習内容に取り入れることで、成長につながるための支援を行っています。

保護者の皆様には、お忙しい中でのご協力に大変感謝しております。



今月のテーマ：ペアレンティング・トレーニング

「脳の育ちを意識した関わり＝ペアレンティング」を実践し、生活習慣・親子関係を改善していけば、何歳からでもどんな状態でも、子供たちはよりよく成長していきます。以下「子供の脳を発達させるペアレンティング・トレーニング」より、一部抜粋しました。ご家庭での子育ての一助となればと思います。

① 発達とは脳の育ちである

ペアレンティング・トレーニングでは、脳を「からだの脳」「おりこうさんの脳」「こころの脳」の3つに分けて考えます。

からだの脳…寝ること、起きること、食べること、からだをうまく動かすこと

おりこうさんの脳…言語機能や微細運動、思考など

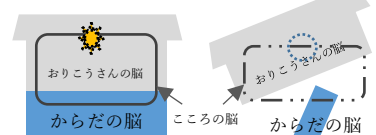
こころの脳…論理的思考や問題解決など

人の発達には順番があります。大切なことは①**からだの脳**→②**おりこうさんの脳**→③**こころの脳**を順番に育てていくことがまずは重要です。

② 脳育てのバランスとは

脳を育てる、ということをして2階建ての家を建てることに置き換えてイメージすると分かりやすいです。1階「からだの脳」から作りはじめ、ある程度できてから2階「おりこうさんの脳」をつくり始め、最後に電線「こころの脳」をつなげて灯りをつけます。

3つの脳がしっかりと
バランスよく作られ
つながったイメージ



③ 生活が脳を育てる

まずは基礎となる「からだの脳」を丈夫に育てることが大切です。親が最初にやるべきことは**生活習慣を整える**ことです。「からだの脳」の部分がぐらついていては、勉強しても土台が不安定で、なかなか定着しません。

子どもの脳を育てるよいペアレンティングとは

- 1 ブレない生活習慣を確立する
- 2 調和がとれたスムーズなコミュニケーションを図る
- 3 親子が互いを尊重して協力し合う体制をつくる
- 4 怒りやストレスの適切な対処法を共有する
- 5 親子が楽しめるポジティブな家庭の雰囲気をつくる
- 6 親はブレない軸を持つ



参考文献『改訂新装版子どもの脳を発達させるペアレンティング・トレーニング：育てにくい子ほどよく伸びる』成田奈緒子・上岡勇二・子育て科学アクシス編 合同出版

